

国語・日本語教育学会役員

代表 府川源一郎(研究室)
 評議員 青山 浩之(研究室)
 一柳 廣孝(研究室)
 金澤 裕之(研究室)
 河野 俊之(研究室)
 高木まさき(研究室)
 高芝 麻子(研究室)
 橋本ゆかり(研究室)
 古田恵美子(研究室)
 三宅 晶子(研究室)
 青木 弘(鎌倉中)
 大音師右至(横浜中)
 茅野 政徳(横浜小)
 齊藤 裕
 (元鎌倉市立腰越中)
 山下 俊幸
 (関東学院大学)

運営委員

河野 俊之(研究室)
 橋本ゆかり(研究室)
 古田恵美子(研究室)
 木村信一郎(鎌倉中)
 佐藤 知司(鎌倉小)
 本間 隆司(横浜中)
 高橋あずみ(横浜小)
 奥村 千絵(横浜小)
 茅野 政徳(横浜小)

会計監査

新見 公康(都留文科大学)
 山下 俊幸(関東学院大学)

〔投稿規程〕

- 一、投稿原稿は、四百字詰め原稿用紙三〇枚程度。フロッピー(機種を明示)に入力し、プリントアウトした見本一部を添えてお送り下さい。
- 一、投稿原稿は、評議会が選出する複数の審査委員の審査を経て、採否を決定します。なお、審査結果は、決定次第、投稿者に直接通知します。
- 一、次号締切は平成二五年九月末日
- 一、原稿送り先

〒240-8501

横浜市保土ヶ谷区常盤台79の2

横浜国立大学 教育人間科学部 国語・日本語教育講座内

横浜国立大学国語・日本語教育学会 宛

◇ 編集後記 ◇

本学会代表でもある府川源一郎先生が三月で退職される。本号は、その記念特集を組んでいるが、特集号の名を立てていない。府川先生のほか、多くの教え子や同僚の方々に寄稿いただいた。ご寄稿くださった皆様に感謝申し上げます。本号は、第三十二号であるが、こんなに分厚く、読み応えのある『国語研究』は初めてである。もちろん、分量だけでなく、内容についても非常に示唆に富むものである。これもひとえに府川先生の温かいお人柄と熱心なご指導の賜物だろう。

一昨年度退職された岡田充博先生の後任として、今年度、高芝麻子先生が赴任された。府川先生が退職されるのはひじょうにさびしく、また、学生指導に関して重鎮を失ってしまうという気持ちは強いが、学生指導に関しては歩みを止めることはできない。残る者、新しい者、一丸となって、みなで学生を支援し、新しく学会代表となる三宅晶子先生のリーダーシップの下、学会をさらに発展させていきたい。(河野)